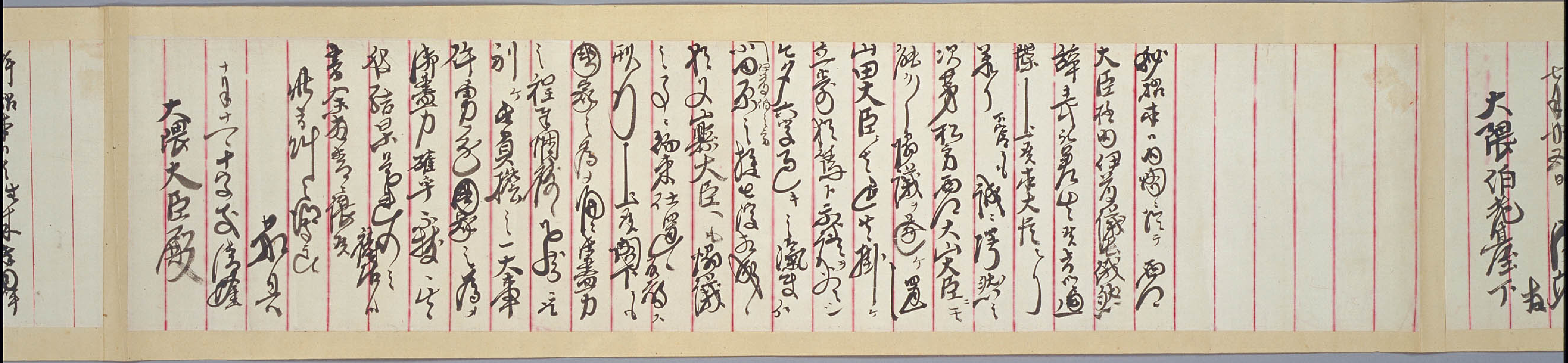

大隈伯老台下

昨夜来ハ内閣ニ於テ　両人
大臣始伊藤伯儀辞職之
辞表ハ差出しも其筋ヘハ通
牒　上奏未定在之
兼テ不容易議論噴出いたし
次第松方西郷大山大臣ニモ
説得し協議ヲ遂ケ置し
山田大臣ニも出掛ケ
立寄相談ト示談ニ及ひ
七分通ハ落着之キハ漸ク
小田原ニ於テ（伊藤伯ニも）挨拶も致し
相又山縣大臣ヘも協議
ニ及ひ結束仕置候得共
形勢　上奏闕ニ付
国家之為ニ尚ほ充分尽力
之程宜敷願上候元
別ニ協議し一大事
件有之国家之為メ
御尽力雖辛苦ニも
相結果草々如此ニ候
書余拝顔ニ譲候也
猶委細ハ拝晤之節
頓首
十月十一日　清隆
大隈大臣殿

黒田清隆書簡　大隈重信宛
明治22年10月11日
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library　イ14-B090(7)